

消化管の造影検査・治療を受けられる患者さん・ご家族へ

～造影剤「ガストログラフィン」供給停止に伴う代替薬使用についてのご案内～

当院では、胃瘻交換時の確認や経鼻経管栄養チューブの交換時の確認、腸閉塞等の治療時に使用するイレウスチューブの挿入留置時での確認等に、「ガストログラフィン経口・注腸用」を使用しております。その「ガストログラフィン」が、製薬メーカーの製造上の理由により全国的に供給停止となっております。

検査や治療を継続するための緊急避難的措置として、当面の間、代替のお薬を使用した運用を行わせていただきます。

1. 代替として使用するお薬について

従来の薬剤の代わりに、国内で血管造影や造影CT検査などで広く使用されている安全性の高い非イオン性ヨード造影剤「イオパミドール 300」を使用いたします。

2. 安全性と医学的妥当性について

この「イオパミドール 300」は、本来は「血管の中に注射して使用する」ものとして国の承認を得てますが、海外の医療現場において、経口投与や注腸使用についても十分な使用実績があります。本来は血液の中に直接投与できる安全性の高いお薬を、今回は胃や腸管の中に流すので、全身の影響や重篤な副作用が起こるリスクは極めて低いと考えられています。

3. 本運用（適応外使用）と院内承認について

この「イオパミドール 300」の消化管造影での使用は、国内の添付文書上の効能に含まれていないため、形式的には「適応外使用」という扱いになります。本運用の妥当性については、当院の衛生委員会（倫理委員会）において承認を得て実施しております。以上の理由から、本件につきましては患者さんお一人ずつからの書面による同意書の取得は省略させていただき、情報公開（オプトアウト）をもって代えさせていただきます。

4. 費用および国の救済制度について

本検査や治療にかかる費用は、通常通り保険診療（通常の診療費）として取り扱われます。

「適応外使用」の扱いとなりますので、万が一健康被害が生じた場合、国の「医療品副作用被害救済制度」の対象とならない場合がありますことをあらかじめご了承ください。

5. 異なる方法を希望される場合

このお薬の使用を希望されない場合や、他の検査方法への変更を希望される場合は、担当医まで遠慮なくお申し出ください。お申し出によって、今後の診療において不利益な扱いを受けることは一切ございません。

安全な医療継続のため、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2026年8月10日

医療法人社団 順養会 海老原病院